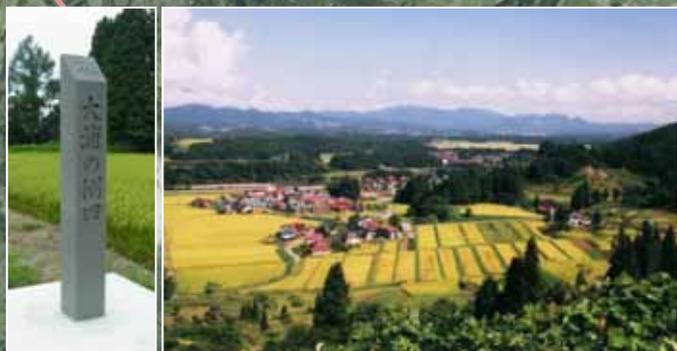


大浦の棚田 周辺マップ

至 大蔵村



大浦の棚田

大浦橋

至 大石田町次年子

川前観音★
亀井田橋

「大石田町そばの里」

大石田町では古くからソバの栽培が盛んで、平成13年に環境省の「かおり風景100選」で「大石田町そばの里」として認定されている。また、大石田そば街道として山形セレクションにも認定されており、地元産の在来種そば粉を使用した手打ちそばを提供している名店が数多くある。

その中でも、大浦の棚田から車で5分のところにある「次年子のそば」は県内でも有名で、そばと一緒に出される季節の漬物も非常に美味しい。



「五月雨を集めて涼し最上川」

松尾芭蕉は大石田の最上川を見て「五月雨を集めて涼し最上川」と詠み、その後、本合海の急流を体験し「涼し」を「早し」に改めたと言われている。

芭蕉が「涼し」と詠んだ雄大な最上川を大石田で体験してはいかがだろうか。

大石田町ビューポイント

大石田町では景観についても町登録文化財に指定して保護を図っている。

大浦の棚田を見下ろす「大浦小坂からの眺望」の他に、斎藤茂吉が好んだという「虹ヶ丘からの眺望」と冬には墨絵のような最上川が見られる「川前観音堂境内からの眺望」がある。



大石田町

★あつたまりランド深堀

黒籠橋

大石田町役場★

西光寺★

大橋

★乗船寺

虹の大橋

至 村山市

「乗船寺涅槃像」

2メートルの涅槃像がある乗船寺。他にも県指定文化財の阿弥陀如来座像がある。



航空写真提供：水士里ネットやまがた（水士里情報システム）

おおaura

大浦の棚田

(大石田町大浦)

やまがたの
棚田20選

大石田町は、町の中心部を山形県の母なる川「最上川」が流れ、舟運が盛んな時代に物資輸送の要衝として栄えた。船着場としての面影が見られる町の中には、俳人「松尾芭蕉」や「正岡子規」、終戦後に2年ほど大石田町に居を構えた歌人「斎藤茂吉」の歌碑などがあり、随所に歴史を感じられる。

そんな大石田町の中心部から車で15分ほどの場所に大浦の棚田がある。棚田は中山間地域直接支払制度を活用して維持管理されており、農村に広がるその風景は大石田町3大ビューポイントの一つとして、町の登録文化財に指定されている。

大石田町では「やまがたの棚田20選」よりも以前の平成9年に町の登録文化財に指定しており、棚田を含めた景観を財産として、町全体で保全している。

